



令和7年度
杉一の教育

杉並区立杉並第一小学校

1 学校経営の基本理念

教育とは、子供を一人の人格をもった人として尊重し、認め励ましながら人格の形成を目指す営みである。本校に通う全ての児童に、自らの生き方を考え、自らの力で将来を切り拓くために必要な基礎学力、強い意志、たくましい体、自信を育てていく。本校は「創立150年の伝統」と「教育活動をサポートする地域の実行力」を誇るコミュニティ・スクールである。歴史の中で培われてきた校風や実績を守り・育て・発展させながら、目標を掲げ、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。

(1)教育目標

人間尊重の精神を養い、常に自主的・創造的で、集団及び地域社会の一員としての自覚をもって地域社会と関わりながら、夢に向かい、志をもって、自らの道を拓くことができる児童の育成を目指す。そのため、「知・徳・体」の調和のとれた生きる基盤を培うことを目指し、学校の教育目標を次のように定め、全教育活動を通じてその実現に努める。

○心の豊かな子ども ◎進んで学ぶ子ども ○体をきたえる子ども

※上記の教育目標を達成するため、教育課程を編成し、学校運営協議会に承認、教育委員会に受理された。

(2)目指す児童像 自立と協働～自分のよさを理解し、友達の良さも認める子～

○心の豊かな子ども 「徳」豊かな情操、礼儀と生活規律の育成

- ・自他を尊重し、思いやりの心をもって共に生きようとする子
- ・きまりを守り、自ら考え行動できる人間性豊かな子

◎進んで学ぶ子ども 「知」自ら学ぶ姿勢の確立

- ・自ら考え判断する力を伸ばし、自分の意思を表現する子
- ・自他の力を活用し、粘り強く取り組む子

○体をきたえる子ども 「体」強い心と体の育成

- ・明るく活発で、個性を伸ばそうとする子
- ・心と体の健康づくりに主体的に取り組み、たくましく生きる子

2 学校経営の基本方針

杉並教育ビジョン2022「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の具現化、「地域とともに、子供が輝く杉一小」として地域における学校の存在価値を示すことができるよう教育活動を展開する。学校とは子供のためにある。学校は子供が認められ、今の自分に自信をもち、明日への希望とよりよい生き方を求めていく場所であってほしい。学校や学級に互いの違いを尊重した「受容・共感・肯定」などの開かれた雰囲気があふれることで、いきがいのある学校となる。

今年度は創立 150 周年の節目を迎える。杉並区最初の区立学校としてのこれまでの歩みを振り返り、過去・現在・未来をつなぐ児童の主体性を生かした 150 周年記念活動を実施する。

○目指す学校像 ～「笑顔」のあふれるコミュニティ・スクール～

- ・児童自らが学びを深め、明日の学校生活を楽しみにできる学校
「児童が通ってよかったと満足する学校」
- ・常に創意工夫がなされ、児童の資質や能力を伸ばす教育が展開される学校
「教職員が誇りをもち、達成感・充実感を味わえる学校」
- ・保護者・地域社会に開かれ、共に協力して児童の教育に携わる学校
「保護者・地域が誇りに思う学校」

○目指す教師像 ～一人一人の児童のよさを見出し、意欲と自信をもたせる教師～

- ・分かりやすい授業、達成感・満足感のある授業を目指し、実践する教師
- ・指導力の向上を旨とし、常に研究及び研修に努め、授業改善等に努力する教師
- ・家庭との連携を充実させ、児童理解に基づいた指導により、児童の成長を図ることのできる教師
- ・公私において高い倫理観をもち、教育公務員として、組織的な学校運営による教育課題の解決に励む教師

(1)学力・体力の育成について

- ① 児童が課題意識や自分なりの解決方法をもつ習慣を身に付けられるよう、日常の授業の充実を図る。考えや意見の交流を活発にし、児童主体の学び合う学習過程を大事にしたカリキュラム・マネジメントに取り組む。そのために、授業者は週の指導計画に明確なねらいを記載し、児童の変容を記録する。
- ② 対話的・協働的な授業を成立させ、自らの意見をもち、言葉で表現し伝え合う学習者を育成するために、考えるための技法、考えを文や図で書き表す機会を常にもち、学習成果を実感できる振り返りの設定、単元構成の工夫、身に付けた力を生かすカリキュラムをデザインする。
- ③ 育成する資質・能力を明確にし、指導と評価の一体化を推進する。基礎的・基本的な事項の定着を図る学習と教科横断的な学習を効果的に展開するために、各学年の単元配列表の活用、年間指導計画の修正を適宜行う。
- ④ GIGAスクール構想第2期への更新に対応し、不確実で複雑と言われる時代を生きぬく力を育むよう、校務分掌にICT活用の組織を位置付ける。全教員で1人1台端末の効果的な活用と児童がデジタル社会で責任をもってテクノロジーを使い、デジタル社会に参画する技術や課題解決能力を身に付けられるよう、デジタル・シティズンシップ教育に取り組む。
- ⑤ 全国・都・区の各種調査結果を分析し、強みをさらに伸ばしたり弱点を克服したりする改善計画を策定し、指導にあたる。日常の指導における重点化や個別の指導により伸長を図る。
- ⑥ 特別活動等において、その趣旨を生かし、集団活動を通して自主的・実践的な態度を育てる。学級活動を充実させ、自主的・自律的にクラスについて児童が考え運営できるようにし、問題は話し合って解決できるようにする力を付け、モラルを高める。
- ⑦ 全体指導と個に応じた指導の工夫を図り、どの子にも学ぶ喜びを実現する。質の高い授業を目指した教科分担任制や交換授業等を実施し、多様な大人と関わる機会の創出や多面的な児童理解につなげる。

(2)健全な心身の育成について

- ① 日常の全教育活動の中で、人権教育の充実を図る。いじめや暴力など心身を傷つける行為は許さない学校・学級風土を醸成する。いじめ対策委員会を毎月開催し「杉並区いじめ防止等に関する条例」に基づいた未然防止・対応力向上に努める。
- ② 基本的な生活習慣の確立に向けた指導について家庭と連携し、生活指導の充実を図る。返事・挨拶と礼儀、時間の管理、後始末の指導、相手意識をもつ「語先後礼」を実行する。
- ③ 心と心をつなぐ人間関係の形成を図り、教育相談を充実させる。問題行動等については児童・保護者との良好な関係構築を基に相談活動を行い、生活指導夕会・全体会で情報を共有する。教育相談コーディネーターを中心に未然防止、早期発見、組織的に問題解決に当たる。
- ④ 特別支援教育については、校内組織の活性化や個別指導計画等記録の蓄積、関係機関との連携により支援機能を充実させる。特別支援教育コーディネーターの企画する研修により、多様な支援方法を理解し指導・対応の充実を図る。専門家を活用し、スクールカウンセラー、巡回指導教員、巡回心理士、教育支援チームとの連携を深め、個に応じた支援にあたる。
- ⑤ 危険・危機回避等の考え方と技能を身に付けるよう、年間計画に基づいた安全指導を実施する。指導内容は週の指導計画に記録し、安全教育の充実を図る。
- ⑥ 「道徳科」を核として道徳的価値の内面化や指導法の工夫など、道徳教育の充実を図る。道徳教育推進教師が計画的に教員研修を実施し、指導力の向上を図る。
- ⑦ 体育の授業や縄跳び・ペース走の取組をはじめ、保健指導、食育の推進など日常生活全般を通して、体力・健

康の保持増進を図る。

(3) 地域と共に児童を育成する開かれた学校づくりについて

- ① 学校運営協議会での協議内容・要望を受け止め検討し、教育活動の改善を図る。単元配列表によるカリキュラム・マネジメントを推進し、学校支援本部、学校教育コーディネーターによる教育活動への協働・支援を最大限に生かす。朝先生の時間を設定し、学級に地域の方々が日常的に関わる開かれた取組を継続する。
- ② 教育活動に地域の教育力を積極的に取り入れるとともに、保護者・PTA組織との連携を図り、学習で身に付けた課題を解決する力やコミュニケーション能力を生かす場を設定する。児童が地域の一員であることを自覚し、自らも貢献しようとする意識を高める。
- ③ 幼児教育施設、中学校との連携を図る中で、学びの連続性を理解し指導に生かす。園児・児童・生徒の交流活動や保育者・教師の連携を工夫し、互惠性のある活動を計画する。年長児・1年生の期間を架け橋期と捉え、幼児教育による10の姿を生かしたスタートカリキュラムを編成し、学校教育となめらかに接続する。
- ④ 教育活動の様子は学校だより、ホームページへの学年・行事の様子を掲載するなど積極的に発信し、取組への理解と協力、学校教育への信頼を得る機会とする。

(4) 組織的な学校運営と全教職員による教育活動の推進について

- ① 様々な職層を生かし、教育課題の解決に取り組む。課題を担当者が一人で抱え込まず、分掌組織を活性化し、相談・検討を重ね課題解決を図る。
- ② 校内研究は主体的な学習者の育成を目指し、生活科・総合的な学習の時間の研究授業を実施する。日常の学習活動においても探究と体験を重視し非認知能力を育む。幼保小連携、小中一貫教育の取組等、計画的な研究・研修を実施し、全教員が広い視野と系統的指導の見通しをもち、授業力を向上させ、児童の教育にあたる。
- ③ 全教職員がコスト意識をもち、各職種、分掌に応じた職務を適切に遂行する。校務支援システムやICT環境を活用し、効率的な授業準備・業務遂行に努める。タイムマネジメントを実行し、限りある時間・予算と求められる業務とその結果について可視化し、個人・分掌組織において改善を図る。
- ④ 服務事故ゼロを徹底するため、服務研修を実施する。机上や居室の整理整頓に常に努めるとともに、互いに声掛けを行い、教育公務員としての強い自覚を維持する。
- ⑤ 栄養士・調理室と連携を密にし、食物アレルギー対策の整備、給食指導上の共通理解の遵守徹底を図り、豊かで安全な食を確保する。

(5) 学習環境の整備について

- ① 落ち着いて学習するのにふさわしい状況となるよう、事務室・主事室と連携した教室環境の整備、専門的指導員による人的環境を整える。
- ② 1人1台端末アプリケーションの活用や教材開発、指導計画に基づいた情報活用能力の伸長を図るとともに、個人情報の保護を徹底し、コンピューターリテラシー、情報社会に参画する態度を育成する。
- ③ 全学年におけるプログラミング教育の実施、AIドリル、該当学年においては学習者用デジタル教科書を活用し、取組の状況を校内外に発信する。
- ④ 令和7年度学校図書館活用実践校の指定を生かし、データベースを活用した調べ学習・探究学習の検証を行う。学校司書、司書教諭が連携し、読書・学習・情報センターの役割を担う学校図書館を整備する。図書委員会児童の活動、図書ボランティアの力も活用し、取組の充実を図る。

「歴史は古く、理想は新しい杉並第一小学校」

～大人も子供も、笑顔で学ぶ意欲にあふれる学校をともに創っていきましょう～

令和7年度 授業時数・年間行事 等

1 授業時数

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 合計 | |
|-----|---|---|---|---|---|----|-------------------|
| 1年生 | 5 | 5 | 4 | 5 | 4 | 24 | |
| 2年生 | 5 | 5 | 4 | 6 | 5 | 25 | 1、2学期の木曜日は、5時間です。 |
| 3年生 | 5 | 6 | 4 | 6 | 5 | 26 | |
| 4年生 | 6 | 6 | 4 | 6 | 6 | 28 | |
| 5年生 | 6 | 6 | 4 | 6 | 6 | 28 | |
| 6年生 | 6 | 6 | 4 | 6 | 6 | 28 | |

- ・毎週水曜日は4時間授業となります。
- ・金曜日はB時程となります。
- ・委員会活動（45分間）とクラブ活動（60分間）は、金曜日の6時間目に行います。
※委員会活動は前期6回、後期6回の2期制で、5年生のみ前期と後期で委員会を変更します。）
※クラブ活動は年間8回実施します。
- ・委員会とクラブがない金曜日は、4年生以上は6時間授業となります。
- ・外国語活動（1年～4年）・外国語科（5、6年）

| | | |
|---------|-------|-------|
| 1・2年生 | 3・4年生 | 5・6年生 |
| 5時間「特設」 | 35時間 | 70時間 |

2 年間行事予定

（1）始業式・終業式・修了式・卒業式の予定

第1学期 ■始業式 4月 7日（月） ■終業式 7月23日（水）

第2学期 ■始業式 8月27日（水） ■終業式 12月23日（火）

第3学期 ■始業式 1月 8日（木） ■修了式 3月24日（火） ■卒業式 3月25日（水）

（2）主な行事

150周年式典 10月11日（土）

※1～4年：1、2校時で下校、5、6年：3、4校時の式典出席後下校

運動会 11月 8日（土）〔予備日：11月9日（日）〕 ＊10日（月）振替休業日

展覧会 2月21日（土）【保護者鑑賞日】 ＊24日（火）振替休業日

（3）その他

・個人面談 5月15日（木）、16日（金）19日（月）、20日（火）、22日（木）

・学校公開週間 9月10日（火）～12日（木）

・土曜学校公開 5月10日【5時間授業、12日（月）振替休業日】、11月8日（運動会）

1月24日、2月21日（展覧会）

※150周年式典のある10月11日（土）の授業公開はありません。

・セーフティ教室（参観可）

6月23日（月）【6年】7月1日（火）【3、4年】7月4日（金）【1、2年】7月8日（火）【5年】

3 保護者会の予定

| 1学期 | | 2学期 | | 3学期 | |
|----------|------|-----------|------|---------|------|
| 4月14日（月） | 246年 | 12月 2日（火） | 123年 | 3月3日（火） | 135年 |
| 4月17日（木） | 135年 | 12月 4日（木） | 456年 | 3月5日（木） | 246年 |
| 7月 1日（火） | 34年 | | | | |
| 7月 3日（木） | 6年 | | | | |
| 7月 4日（木） | 12年 | | | | |
| 7月 8日（火） | 5年 | | | | |

杉並区立杉並第一小学校 いじめ防止基本方針

1 基本方針策定のねらい

いじめは、その対象になった児童に深刻な苦痛を与え、時に生命や心身に重大な危険を伴う恐れのある重大な人権侵害であり、決して許されない行為である

また、いじめは、いつでも、どこでも、どの児童にでも起こり得るものであり、どの児童もいじめる側といじめられる側の両方になり得るという危険性をもはらんでいる。こうした事実を踏まえて、「いじめは絶対に許さない」、「いじめは卑怯な行為である」、「いじめは、どの児童でも、どの学校でも起こり得る」ことを念頭に、共通理解を図り組織的に対応していく。

杉並区立杉並第一小学校いじめ防止基本方針（以下、「本方針」という）は、いじめ問題の克服を目指して、いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号。以下「法」という。）と杉並区いじめ防止対策推進基本方針（平成27年8月、杉並区教育委員会策定。令和6年8月改定。以下「基本方針」という。）に基づき、いじめの防止等（未然防止、早期発見・早期対応及び重大事態への対応）のための対策を、総合的かつ効果的に推進するための、基本的な方針として定めるものである。

2 いじめの定義（「いじめ防止対策推進法 第1章 第2条（定義）」）

「いじめ」とは、児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係にある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

3 いじめ防止等の基本的な考え方

（1）いじめ防止等の基本理念

いじめは「いじめを受けた児童の人権や教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがある絶対に許されない行為である」という、いじめに対する認識を全教職員で共有する。また「いじめはどの学校でも、どの学級でも、どの児童にも起こりうるものである」という危機意識をもって対応する。

いじめの未然防止といじめのない学校づくりを最重要の取組とし、日々の充実した学校生活の中で、児童の人権感覚や道徳性を育み、併せて、日常的に児童の自尊感情や自己有用感を醸成していくことを大切にする。

（2）学校及び学校の教職員の責務

学校及び学校の教職員は、本校に在籍する児童の保護者、地域住民、児童相談所、その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの未然防止及び早期発見に取り組むとともに、本校に在籍する児童がいじめを受けていると思われるときは、適切に早期対応を行う。

4 いじめの防止等の対策のための組織

学校いじめ対策委員会

①学校いじめ対策委員会組織

<教職員関係者>

校長、副校長、生活指導主任、当該学年主任、養護教諭及び関係教職員

<外部関係者>

スクールカウンセラー

②役割

- ・ いじめの防止に係る学校の年間計画の作成・実行・検証・改善
- ・ いじめに関する相談・通報の窓口
- ・ いじめの疑いがある事案や児童の問題行動等に関する情報収集と記録、共有化
- ・ いじめの情報があつた際の迅速な会議開催（会議内での情報の共有、関係児童への事実関係の聴取、指導や支援体制・対応方針の決定、保護者対応等の組織的な実施）
- ・ いじめ等が発見された場合の、済美教育センター教育SAT（School Assist Team）への報告、教育委員会と連携しいじめ等の解消

5 いじめを「防ぐ」取組 <未然防止>

いじめを許さない学校・学級づくり

「いじめが発生してから対応する（事故対応）のではなく、「いじめを生まない、許さない学校・学級風土を作る（未然防止）」ことを重点として指導する。

すべての児童に健全な社会性を育み、「いじめは人間として絶対に許されない行為である」、「いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為もいじめと同様に許されない行為である」ことを徹底して指導していく。

（１）学級経営の充実

日頃から児童とのコミュニケーションを密にし、児童が教員等に何でも話せる、相談できる信頼関係を構築するとともに、「いじめを受けていることを大人に伝えることは、正しい行為である」ことを児童が認識できるようにする。学級活動に、互いのよさを見つたり考え方の違いに気付かせたりする活動を取り入れ、児童の自己有用感や自尊感情を育む。

（２）分かる授業づくり

児童一人一人が達成感や充実感をもてる、分かる授業の実践に努める。

（３）道徳教育の充実

「いじめを行ってはならない」「いじめは決して許されない」という認識を児童がもてるように教育活動全体を通じて指導する。

（４）体験活動の充実

他者と関わり、コミュニケーション能力を培う体験活動を学校支援本部等と協働して計画的に実施する。

（５）インターネットを通じて行われているいじめに対する対策

児童及び保護者に対する情報モラル教育や啓発活動を行う。また教育委員会と連携して実態の把握に努める。

6 いじめに「気付く」取組 <早期発見>

(1) 日常的な児童の情報共有

日頃から学年会において、児童の情報共有を行うとともに、週1回の生活指導夕会で、各学級担任から学級の様子を報告していく。そうすることで、教職員が児童理解を深めていけるようにするとともに、情報共有やいじめ等の早期発見の機会とする。

(2) いじめ防止に関する授業の実施

いじめ防止に関する授業を年3回以上実施し、児童のいじめ防止のために必要な資質・能力の向上を図る。

(3) アンケート調査の実施

いじめを早期に発見するために、年間3回（6月、11月、2月）児童に対するアンケート調査を実施する。

(4) 教育相談の実施

定期的に教育相談期間を設けて、全児童を対象とした教育相談を実施する。

○年1回、第5学年全員に個別面接を行う。

○6月、11月、2月のアンケート結果を受け、効果的な教育相談を実施する。

(5) 児童及び保護者との信頼関係の構築

○保護者が学校の教育活動への理解を深められるよう、保護者会を年間4回実施するほか、9月に平日授業公開、年5回土曜日学校公開を実施する。

○児童理解を深めるとともに、保護者との信頼関係を構築できるよう、4月に地域訪問、1学期中に個人面談を実施する。

(6) いじめ防止に関する研修の実施

いじめ防止に関する研修を年3回以上実施し、日々の観察の仕方等、いじめ防止に関する教職員の資質向上を図る。

7 いじめから「守る」対応 <早期対応>

(1) 学校いじめ対策委員会を定期開催するとともに、週1回の生活指導夕会後にも必要に応じて適宜開催し、早期に最善な指導を行えるようにする。

(2) 教職員は、いじめに関する相談を受けた場合、又はいじめと思われる行為を見つけた場合は、速やかに生活指導主幹及び管理職に報告する。その後、校長は速やかに学校いじめ対策委員会を開催し、いじめの事実の有無の確認を行うための措置を講じる。

(3) いじめの事実が確認された場合は、学校いじめ対策委員会等で情報を共有し、いじめの再発防止をするため、学校いじめ対策委員会が中心となって対応を協議し、いじめを受けた児童とその保護者に対する支援と、いじめを行った児童等に対する指導とその保護者に対する助言を継続的に行う。併せて済美教育センター教育SATに報告し、教育委員会と連携していじめ等の解消・事態の改善に向けて取り組む。

(4) 校長は、必要があると認めるときは、いじめられた児童が安心して教育を受けるために必要な措置を講じる。

(5) 犯罪行為として取り扱われるべきいじめについては、教育委員会、警察署と連携して対処し、児童の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは直ちに警察署に通報し、適切に援助を求める。

(6) いじめの解消については、「一定期間、いじめに係る行為が止んでいること・

被害児童が心身の苦痛を感じていないこと」この2点を学校いじめ対策委員会が児童の状況等を総合的に検討したうえで、校長が判断する。

(7) 解決後も3か月以上は経過観察を続け、情報共有に努める。

8 重大事態への対応

(1) 重大事態の定義

- いじめにより児童・生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。(児童・生徒が自殺を企画した場合等)
- いじめにより児童・生徒が相当の期間(年間30日を目安とする)学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。
- 児童・生徒や保護者から、いじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったとき。

(2) 重大事態への対応

- 学校は、重大事態が発生した場合、済美教育センター教育SAT・教育委員会へ事態発生について報告する。
- 杉並区においては、教育委員会の下に重大事態の調査組織(杉並区立学校いじめ問題調査委員会)を設置し、事実関係を明確にするための調査を実施する。
- いじめを受けた児童・生徒及びその保護者に対して適切に情報を提供する。
- 杉並区立学校いじめ問題調査委員会は調査結果を区長に報告し、調査結果を踏まえた必要な措置をとる。

(令和5年8月24日 追記)

(令和6年9月19日 追記)

杉一小の子供たちが充実した学校生活を過ごし、「笑顔いっぱいの杉一小」になるよう、様々な活動を実施できるよう、教職員一同、知恵を振り絞りながら尽力してまいります。以下のような指導を重点事項として、共通理解を図りながら指導を行います。ご協力の程よろしくお願いいたします。

杉一小の えがおをつくる 3つの㊦



1 ㊦ いさつ…「あいさつで えがおと かんしゃをつたえよう」

挨拶は人と人とを結ぶ懸け橋です。本校は学校の教職員だけでなく、地域の方々やゲストティーチャーなど様々な場面で多くの方々にお世話になります。校内でも校外でも「ありがとう」という感謝の思いをもちながら生活し、お世話になっている方々にすすんで挨拶する力が身に付くよう指導してまいります。ご家庭でも是非意識付けをお願いいたします。



2 ㊦ んぜん…「あんぜんは きまりとじかん じゅんびから」

○きまりを守る

学校や身の回りのきまりは、自分だけでなく、周りのみんなが気持ちよく、安全に過ごすためにあります。「杉一小の生活」をはじめとする学校のきまりを、すすんで守り、安全・安心で楽しい学校生活を自ら築けるよう指導してまいります。

○時間を守る

見通しをもち、時間を守りながら落ち着いて生活することは、安全な学校生活につながります。チャイムの合図を守り、時間を意識して行動する力が身に付くよう指導を行っていきます。

○準備を整える

体育着の上着をズボンの中に入れる、理科の実験では袖をまくるなど、その場に応じた身だしなみは、安全な学校生活につながります。また、学校に必要なものを忘れずに揃え、不必要なものは持ってこないことも、安全・安心な学校生活を送るためには不可欠です。



3 ㊦ んしん…「あなたもわたしも ㊦んしんできる すぎいちしょう」

○言葉遣い

相手や場面に応じて敬語を使うことはもちろんのこと、「親しき仲にも礼儀あり」とあるように、ふだんから親しく接する友達に対しても、相手に嫌な思いをさせず、互いに気持ちよく生活できる言葉遣いを意識させていきます。

○心遣い

本校では、「生命の尊さ、思いやり」を重点とした道徳教育や、自他のよさを大切にする人権教育を推進し、教育活動全体を通して心遣いの大切さを指導しております。相手の立場に立った思いやりのある行動をとり、相手も自分も大切にできる子どもの育成を目指します。保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

保護者の方へのお願い

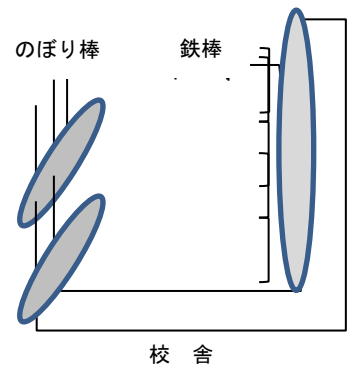
- ① 登校時間は 8 時 10 分～8 時 20 分です。
8 時 10 分のチャイムとともに校舎内に入ることができるよう、送り出していただきたいと思っています。早く来すぎたり、遅刻したりしないようにお願いします。特に全校朝会や集会のある月・木曜日は、集合に遅れないように家を出るよう声掛けをお願いします。
- ② 登下校はできるだけ、一人にならないようにして、通学路を守るよう声かけをお願いします。
- ③ 欠席・遅刻の連絡は、原則として「teturu」（欠席当日 8 時 10 分まで）にてお願いいたします。
- ④ 体育の見学の連絡は、連絡帳でお願いします。
- ⑤ 遅刻や早退は、児童の安全確保のため、必ず保護者が教室まで送り迎えをお願いいたします。
- ⑥ 欠席された場合、翌日の学習などの用意については、各学級で配布される時間割を参考にしてください。必要があれば、「ロイロノート」や「まなびポケット」で配信します。もし、ご不明な点がありましたらお手数ですが、担任までお問い合わせください。
- ⑦ 最近、忘れ物を取りに来る児童が増えています。学校でも声掛けをしますが、ご家庭でもご指導願います。なお、どうしても取りにくる場合は、5 時までに来る。5 時を過ぎる場合は、必ず保護者の方と来校するようお願いします。また、必ず玄関で、来校者カードに記入し、警備員が教員に声をかけて断ってから入るようお願いします。帰るときもひと声かけて帰るようにしてください。
- ⑧ パソコンやスマートフォンの利用が増えていますので、思わぬトラブルに巻き込まれないよう、本校では都の SNS ルールをもとに「杉一小ネット利用ルール」を作成しています。（「杉一小の生活」に記載しています。）スマートフォンやパソコンのインターネットやゲーム等の利用について、ご家庭でも利用時間や利用のルールやマナーなどについて、お子様と話し合って約束を決めて利用するようお願いします。
- ⑨ 本校では学習に必要なものは学校に持ち込まない約束になっています。別紙「携帯電話の学校への持込みについて」のお便りをよくお読みになってご協力をお願いいたします。
- ⑩ 今後、気温の上昇とともに熱中症の危険も心配されます。今年度も水筒を持参してもよいことにしていますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。（ただし、水道水は危険なく飲むこともできますので、各ご家庭の判断で持たせてください。）

杉一小では、全校児童全員が笑顔いっぱいの学校生活を送るために大切になるルールやマナーなどを「杉一小の生活」としてまとめてあります。新学期にあたり、各ご家庭でもお子様と一緒にご確認ください。

れいわ ねんど すぎいちしょう せいかつ
令和7年度 杉一 小 の生活

がっこう
学校では

1. 学習に集中するため、必要のない物は持ってきません。
2. 事件や事故にあわないために、忘れ物をして、家に取りに戻ったり、電話をかけに外に出たりしません。
3. ろう下や階段は、右側を静かに歩きましょう。
4. 体育館や屋上を使う時は、担任の先生と一緒に使しましょう。
5. けがの防止のため、休み時間はボールをけりません。（ただし、放課後はボールをけてもいいです。）
6. 上ばきは、「名前」を2カ所にはっきり書きましょう。（上ばきの「甲」と「かかと」）
7. 8時10分以前や放課後に教室を使う場合は、先生の許可をもらいましょう。
8. 放課後遊びは、校庭だけで遊びましょう。
9. 一輪車で遊べるのは、昼休みです。遊べる場所は、鉄棒と校舎の間と、のぼり棒の周りです。安全に気を付けて遊びましょう。
10. 水筒は、教室の自分のロッカーに入れましょう。



あめ ひの たいいくかん わ ま
■ 雨の日の体育館の割り振り ■

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|----|----|----|----|----|
| なかやす 中休み | 1年 | 5年 | 3年 | 6年 | 4年 |
| ひるやす 昼休み | 2年 | 6年 | | 5年 | |

ほうかごあそ
■ 放課後遊び ■

- ・4年生から放課後遊びができます。下校時刻まで遊ぶ場合は、家の人に話しておきましょう。
- ・月、火、木、金の授業終了後の30分間です。
- ・ランドセルは体育館の犬走りのところにきれいに並べて置きましょう。

あんしん あんぜん に生活するために、以下のことはやめましょう

| | | | |
|-----|--------------|-----------------|-------------|
| 校庭 | ・上ばきで外に出る。 | ・校舎に向かってボールをける。 | ・池のふちに上る。 |
| 教室 | ・窓から乗り出す。 | ・窓のところに腰かける。 | |
| ろう下 | ・ろう下を走る。 | ・ろう下で遊ぶ。 | |
| 階段 | ・手すりをすべる。 | ・階段に座る。 | ・階段から飛び降りる。 |
| その他 | ・勝手に学校の外に出る。 | ・お金を持ってくる。 | |

あんぜん まも
安全を守るため、みんなの目の届くところで遊びましょう。以下のところは遊びません

| | | | | | |
|------|---------|-------|---------------|-------|--------|
| 校舎の外 | ・体育倉庫 | ・校舎の裏 | ・チャボ小屋や開放倉庫の裏 | ・非常階段 | ・朝礼台の上 |
| 校舎の中 | ・玄関 | ・階段 | ・ろう下 | ・トイレ | ・特別教室 |
| 体育館 | ・ステージの上 | ・体育倉庫 | ・トイレ | | |

■学校で使う学習用具について■…学習に集中できるように、学校ではキャラクターが描かれたものは使いません。

1. ふでばこは、えんぴつが固定できる箱がたのものにしましょう。
2. ふでばこには、えんぴつ5本、赤、青1本ずつ（または、赤青えんぴつ）、消しゴム1個
定規（15cm程度で折りたたみ式でないもの）、名前ペン1本を入れましょう。
3. 下じきもかならず用意しましょう。
4. 持ち物には、すべて記名しましょう。

学校の行き帰り

1. 毎日、決められた通学路を通して登下校しましょう。
2. 安全のため登校時刻を守りましょう。（8時10分～8時20分）
月曜・木曜は朝会・集会に遅れないようにするため、8時10分までに登校しましょう。
3. 遅刻や早退をする時は、事件や事故に巻き込まれないようにするため、保護者の方と一緒に登下校しましょう。（教室までつきそってもらいましょう。）
4. 先生に言われた人以外で、8時10分以前に登校した人は、校庭で待つようにしましょう。
先生に言われた人は、集合場所にランドセルを持って行き、先生を待ちましょう。
8時10分以前に来るジュニアバンドの人は、ランドセルを音楽室に置きましょう。
5. 水曜日の校庭開放に来る人は、一度家に帰り、ランドセルを置いてから来ましょう。
6. 学校に置いておくものの以外は、毎日持ち帰りましょう。タブレットは、必ずランドセルに入れて持ち運びましょう。
7. 週末には、上ばきや体育着、当番は白衣などを持ち帰り、洗濯しましょう。
8. 危険防止のため、ランドセルの横にはものをかけないようにしましょう。
9. 登下校の安全のため、学校から直接、習い事に行くことはできません。

家に帰ってから

1. 遊びに行く時は、家の人に「だれと」「どこに」「何時まで」を伝えましょう。
2. 「夕焼けチャイム」がなったら、家にまっすぐ帰りましょう。
3. 事件や事故に巻き込まれないために、商店街や駅、ゲームセンターなどでは遊びません。
4. お金は大切なものです。お金を使って遊んだり、おごったりおごられたりしません。
5. 忘れ物は取りに来ません。（教室は、カギがかかっています。）

どうしても取りに来なければならない場合は、学校に連絡をしてから、必ずおうちの人と一緒に来ましょう。危険防止のため、子供だけでは取りに来られません。学校に来たら、必ず先生か警備員さんに断り、来校者ノート（児童用）に書いてから先生と一緒に取りに行きましょう。お休みの日も同じです。

スマホやパソコンなどでインターネットやゲーム等を使っている人は、モバイルネットワーク利用ルール（SNSルール）をもとに、家の父と話し合ってルールを守って使しましょう。

杉一小 ネット利用ルール(SNSルール)

1. 家の人とスマホやパソコン、ゲーム機の約束を決めてつかおう。
2. 個人情報、絶対に載せません。
3. 送信前には、必ず、読み返してから送ります。



緊急時の児童の安全確保について

〔緊急対応マニュアル〕

災害等発生時又は予知された場合、学校では児童の安全を第一に考えて、次のような対応措置をとります。ご協力ください。

【登下校途中に緊急事態が発生した場合】

緊急事態発生

| 地震・火災 | 事件・事故・不審者 等 |
|--|---|
| ☆大きな壁等から離れる（地震） ☆その場から離れる（火災） ☆近くの大人に助けを求める ☆近くの公園・空き地等の安全な場所に避難する | ☆その場から離れる ☆近くの大人に助けを求める ☆「ピーポ 110 番の家」やお店などに逃げ込む |
| 学校か自宅か、近い方に避難する （※自宅に保護者がいない場合は学校に避難する） | |
| <div style="text-align: center;"> <div>学校</div> 校庭等の安全な場所に避難する </div> | <div style="text-align: center;"> <div>自宅</div> 帰宅したできるだけ早く学校に連絡する （※保護者が留守の場合には学校で預かる） </div> |
| <div style="text-align: center;"> 保護者とともに帰宅する ※保護者に連絡がつかない場合には、学校で預かりを継続する </div> | |

◎臨時休校

午前 6 時の時点で杉並区に**特別警報**（大雨・暴風・風雪・大雪）が発令された場合には、**臨時休校**とします。学校より「teturu」でお知らせします。

◎自宅待機

午前 6 時の時点で杉並区に強い雨や風などに関する**警報**（暴風警報・大雨警報・洪水警報・※注意報ではありません）が発令されている場合には、**自宅待機**とします。

（特別警報・警報は気象庁のホームページ〈<http://www.ima.go.jp/ima/index.html>〉及び、電話による天気予報〈177 番〉、ニュース等で確認できます。）

◎登校

- 午前 6 時の時点で**警報**が出ていない場合には、**通常どおりの登校**となります。
- 午前 6 時の時点で**警報**が出ていて、それ以降に**警報**が解除された場合、登校時刻等を「teturu」でお知らせするとともに、その後ホームページにも掲載します。

※いずれの場合も、状況に応じて無理をせず、ご家庭で判断して安全に登校させてください。

この場合、遅れて登校しても遅刻にはなりません。

◎下校時刻の変更

登校後、台風等の状況により下校時刻を変更しなければならない場合には、「teturu」、およびホームページでお知らせします。

なお、就業時間内に**特別警報**が出された場合は、下校を見合わせ、防災計画に基づき学校待機となります。下校に関しては「引き渡し」を原則とします。

台風の接近等で、登校時刻が変更になる場合

学校から「teturu」を配信して、連絡するようにします。※連絡がない場合は、通常どおりの登校です。

【学校で緊急事態が発生した場合（下校措置）】

| | | | |
|--------------|---|--|--|
| どんな時に使われるか | <p><u>学校が緊急引き渡しを必要と判断したとき</u></p> <p>例…特別警報 警戒宣言発令時 大地震の時 など</p> | <p><u>学校が学年別下校を必要と判断したとき</u> (時程の変更がない場合)</p> <p>例…事件・事故があった時 不審者が出没した時 など</p> | <p><u>学校が一斉下校を必要と判断したとき</u> (時程の変更がある場合)</p> <p>例…大雨・暴風雨警報発令時 子供が安全かつ速やかに一斉下校する必要がある場合 など</p> |
| 引取形態 | 緊急引き渡し | 学年別下校 | 方面別一斉下校 |
| 連絡方法 | <p><u>学校からは連絡できないと想定される</u></p> <p>発令内容等を正門に掲示</p> <p>※緊急メール配信を使って連絡を試みます。ホームページに公開される場合もあります。</p> | <p><u>緊急メール配信がある</u></p> <p>連絡先…緊急メールで全員に配信します。</p> <p>発信元…緊急メールは学校から発信されます。</p> | <p><u>緊急メール配信がある</u></p> <p>連絡先…緊急メールで全員に配信します。</p> <p>発信元…緊急メールは学校から発信されます。</p> |
| | <p><u>杉並区危機管理室、防災課による防災無線、および各種メディアなどから確認</u></p> | | |
| 連絡を受けたら | <p><u>警戒宣言発令や震度5弱以上の地震が発生した場合には速やかに学校へ引き取りに向かう。</u></p> <p>徒歩のみ：自動車・自転車は乗ってこない。 担任に名のり、子供を引き取る。引き渡しカードの緊急引き取り者欄に記入された人のみに児童を引き渡すことになっている。</p> | <p><u>自宅から出て下校経路まで出て、子供を出迎える。</u></p> | <p><u>保護者は下校経路まで迎えにくるか、解散場所で待って子供を引き取る。</u></p> <p>原則として解散場所まで教職員が引率してくる。 引取りのない子供は教職員と学校に戻ることもある。</p> |
| すぐに引き取れなかつたら | <p>子供は学校で保護されている。 警戒宣言等を聞いたらずぐに学校に向かう。</p> | | <p>連絡の取れない家庭の児童は原則として学校が保護する。</p> |

令和7年4月吉日

保護者様

杉並区立杉並第一小学校
校長 山口 祐美子

携帯電話の学校への持込みについて

<携帯電話の学校への持込みの原則禁止に関するお知らせ>

保護者の皆様には、本校の教育活動に対するご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

ここ数年、携帯電話をめぐる様々な問題が起こっていることから、本校の携帯電話の持込みについての考え方を保護者の皆様にご理解いただきたく、お知らせいたします。

文部科学省「学校における携帯電話の取扱い等に関する有識者会議 審議のまとめ」（令和2年7月）の中においても、小学校の通学距離は、登下校に当たってさほど長い距離や時間がかかるわけではなく、「小学校における、学校への児童の携帯電話の持込みについては、引き続き原則禁止とすることが妥当」と示しています。

東京都教育委員会並びに杉並区教育委員会でも、同様の対応を行うよう指導が行われています。

このような理由から、本校では、携帯電話の学校への持込みを、基本的に認めておりません。万が一お子様への緊急の連絡が必要となった場合、学校へご連絡いただければ取り次げます。なお、お子様からの連絡も職員室から可能です。

携帯電話の持込みについて、社会状況の変化なども鑑みながら継続的に検討を重ねた上で、本校における携帯電話の持込みについて、次のような規定を設けております。ご確認ください、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

杉並第一小学校 児童の校内における携帯電話についての規則

- ・携帯電話の校内持込みは、原則禁止する。
- ・家庭の事情などで携帯電話の持ち込みがどうしても必要な場合は、あらかじめ保護者が担任に書面をもって通知する。
- ・校内で検討し、携帯電話を緊急時の連絡手段とせざるを得ないその他やむを得ない事情があると判断した場合に限り、所持する際の規則の遵守を条件として、「携帯電話所持許可証」を発行する。
- ・昨年度申請し、今年度も引き続き所持の申請を希望する場合でも、年度初めに改めて申請を行う。
- ・校内持込みを許可した場合でも、校内では電源を切り、ランドセルから出さない。

「GIGA ワークブックとうきょう」「SNS 杉ルール」について

GIGA ワークブックとうきょう

- ①スマホやゲームの1日の合計利用時間帯・場所を決めよう。
- ②必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。
- ③送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。
- ④個人情報を教えたり、知らない人と会ったり、自画撮り画像を送ったりしない。
- ⑤写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

SNS 杉ルール

- ①家の人とスマホやインターネット、ゲーム機の約束を決めて使おう。
(利用時間、終了時刻、フィルタリング)
(例)「1日1時間まで」「食事中は使わない」「午後8時まで」
「親の見ていない前で使う」「親のものを貸し出す」
・保護者に必ずフィルタリングをつけよう。
- ②メールや SNS などに個人情報は、絶対に載せない。
・住所 ・電話番号 ・写真 ・生年月日など
- ③メール・ライン・ツイッターなどは送信前に、必ず読み返してから送る。
・相手がいやな気持ちにならないか
・大切なことは、直接話そう
・迷った時は、大人に相談しよう
- ④困った時は、必ず大人（親、先生）に相談する。



杉一小の家庭学習

学習したことの理解を確かなものとし、「分かる」から「できる」、さらにいろいろな場面で「使える」ようになるために、家庭学習は大切なものです。

新学期スタートのこの機会に、それぞれご家庭で一日の生活のリズムを見直し、目標を定めて本校の取組にご協力いただきますようよろしくお願いします。

《家庭学習のねらい》

○家庭学習は、学習した内容を繰り返し練習することによって確実に身に付けることや、すすんで学習する姿勢や習慣を身に付けることを目的にしています。特に、間違えたところをもう一度やり直すことで、ぐんと力がつくと言われています。ぜひ、励ましながら取り組ませてください。

《本校の家庭学習への取組》

○国語と算数に関する家庭学習（＝宿題）を出します。

○3年生以上は、主体的に学ぶ姿勢を育てるために、週に一回程度、自分でやることを決めて学習する「自主学習ノート」に取り組みます。自分の興味・関心のあることを調べたり、授業で学んだことの復習をしたりして、意欲的に学習を進めています。

《家庭学習で大切にしてほしいこと》

○はじめは一緒に学習することから

低学年に限らず、家庭での学習習慣が身に付くまでは、お子様と一緒に学習することから始めてください。

○家庭学習のルール作りを

決まった時間に・決まった場所で・ながら勉強をせずに

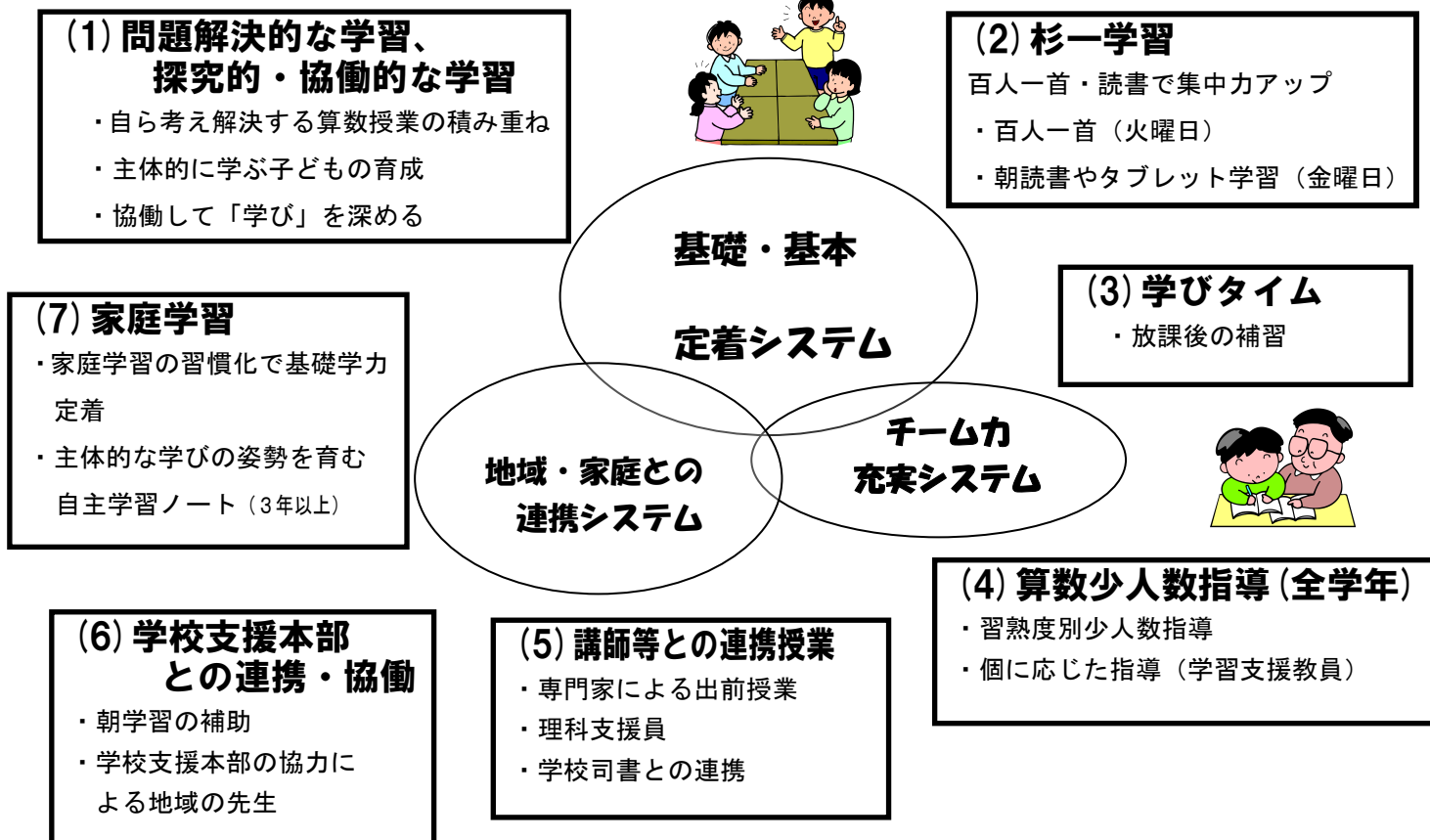
お子様と相談して、無理のない家庭学習ルールを作ってください。

○がんばりをほめて

ちょっとしたがんばりを評価してあげることが、やる気と意欲につながります。「また頑張ろう」と思える励ましの言葉を掛けてあげてください。

◆学力向上杉ープラン◆

学力の樹をバランスよく、大きく育てるために3つのシステムを立ち上げ、7つの取り組みを実践しています。学校全体でチームを組み、協力して子供たちを育てていく視点で教育課程の工夫を行っています。そして、学校・地域・家庭がひとつになり、信頼される学校づくりをすることをめざし発足した学校支援本部（学校を支援するために設置された地域の人々の応援組織）との連携も図って進めています。



今年度の校内研究

主体的に学び続ける学習者の育成を目指して —深い学びを創造する探究的な学習を通して—

◆元気いっぱい杉ープラン◆

児童が心身共に健康づくりができるように学校全体で協力して授業改善や学習環境の工夫を行っている。また、学校・地域・家庭が一つになり協働して学校教育活動を推進している。

学び

生涯にわたって積極的に学び続けようとする素地を養う。

「体育学習の充実」「健康教育の充実」「食育の充実」

連続性

就学前教育から小学校及び中学校教育への意図的で円滑な接続の推進を図ることによりそれぞれの段階での内容を確実にする。

「健康づくりの日常化・元気タイム」「異校種との交流活動」

つながり

学校・地域・家庭などとのつながりを大切にし、それぞれに交流・協同・協働による取組を促進し、共に学び共に創る教育活動を展開する。

「学校支援本部・地域との連携」「家庭・PTAとの連携」



| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
|----|---|--|---|---|--|-------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------------|----|--|
| | 曜 | 行事 | 曜 | 行事 | 曜 | 行事 | 曜 | 行事 | 曜 | 行事 | 曜 | 行事 | 曜 | 行事 | |
| 1 | 火 | | 木 安全指導 体力調査始(～6月30日) 移動教室(6年)保護者説明会 体育館14:40～ | 日 | 火 こころの劇場・社会科見学(6年) 事前検診(5年)安全指導 保護者会(34)＋参観(5校時) 【セーフティ教室3、4年】 | 金 | 月 発育測定(6年) 安全指導 | 水 安全指導 | 土 | 月 安全指導 | 木 元旦 | 日 | 日 | 1 | |
| 2 | 水 | | 金 クラブ活動① | 月 安全指導(いのちの安全教室) 読書月間始 避難訓練③(火災) | 水 移動教室(5年) 子小中研 小中一貫(馬橋小) | 土 | 火 発育測定(3年) | 木 | 日 | 火 道徳授業地区公開講座(123年)＋保護者会(123年) | 金 | 月 安全指導 | 月 安全指導 たてわり班遊び⑥ | 2 | |
| 3 | 木 | | 土 憲法記念日 | 火 体力調査 安全指導 | 木 移動教室(5年) 保護者会(6)＋参観(5校時) 租税教室6年 | 日 | 水 発育測定(5年) | 金 委員会⑦(後期) | 月 文化の日 | 水 | 土 学校閉庁終 | 火 | 火 保護者会(135年)＋参観 | 3 | |
| 4 | 金 | 入学式準備(午前) 6年登校 | 日 みどりの日 | 水 | 金 移動教室(5年) 保護者会(12)＋参観(5校時) 【セーフティ教室1,2年】 | 月 | 木 発育測定(4年) | 土 | 火 安全指導 読書月間始 | 木 道徳授業地区公開講座(456年)＋保護者会(456年) | 日 | 水 | 水 | 4 | |
| 5 | 土 | | 月 こどもの日 | 木 移動教室(5年)保護者説明会 体育館14:40～ | 土 | 火 | 金 発育測定(2年) 理科出前授業(6年) | 日 | 水 全校練習② | 金 委員会活動⑨ | 月 | 木 | 木 保護者会(246年)＋参観 | 5 | |
| 6 | 日 | | 火 振替休日 | 金 歯科(全) 委員会活動③ | 日 | 水 | 土 | 月 | 木 | 土 | 火 | 金 委員会活動⑩ | 金 委員会活動⑪ | 6 | |
| 7 | 月 | 着任式 始業式 入学式(午後) | 水 全校遠足(馬橋公園) | 土 | 月 | 木 | 日 | 火 | 金 前日準備(5、6年) | 日 | 水 冬季休業日終 | 土 | 土 | 7 | |
| 8 | 火 | 安全指導 給食始 地域訪問 | 木 尿検査1次 | 日 | 火 避難訓練④(不審者) 保護者会(5)＋参観(5校時) 【セーフティ教室5年】 | 金 | 月 午前座高円寺(4年) 発育測定(1年) | 水 | 土 運動会(5時間授業) | 月 | 木 始業式 | 日 | 日 | 8 | |
| 9 | 水 | 発育測定(2年～6年) | 金 尿検査1次追加 委員会活動② | 月 たてわり班活動② | 水 | 土 | 火 学校公開(1校時～3校時) | 木 周年リハーサル おめでとうの会 | 日 | 火 元気タイム終 | 金 給食始 安全指導 | 月 | 月 | 9 | |
| 10 | 木 | 聴力検査(1235年) | 土 土曜学校公開① 5時間授業 5校時避難訓練② (引き渡し訓練) | 火 | 木 | 日 | 水 学校公開(1校時～3校時) | 金 前日準備 | 月 振替休業日 | 水 ランニングチャレンジ | 土 | 火 | 火 6年生を送る会(5校時) | 10 | |
| 11 | 金 | 交通安全教室 発育測定(1年) 委員会活動① | 日 | 水 | 金 委員会活動④ | 月 山の日 | 木 学校公開(1校時～3校時) | 土 150周年式典(AM) 祝う会(PM) | 火 | 木 社会科見学(4年) | 日 | 水 建国記念の日 | 水 | 11 | |
| 12 | 土 | | 月 振替休業日 | 木 | 土 | 火 振替休日 | 金 避難訓練⑤(火災) クラブ活動③ | 日 | 水 | 金 クラブ活動⑥ | 月 成人の日 | 木 新1年保護者会14:30～ | 木 | 12 | |
| 13 | 日 | | 火 自転車安全教室(4年) | 金 | 日 | 水 学校閉庁日始 | 土 神明宮 例大祭 | 月 スポーツの日 | 木 | 土 | 火 | 金 クラブ活動⑧最終 | 金 | 13 | |
| 14 | 月 | 1年生を迎える会 1年給食始 保護者会(246年) | 水 眼科(全) | 土 | 月 たてわり班遊び③ | 木 | 日 神明宮 例大祭 | 火 運動会特別時程始 | 金 委員会活動⑧ 生活習慣病予防(5年)13:30～14:30 | 日 | 水 発育測定(6年) | 土 | 土 | 14 | |
| 15 | 火 | 避難訓練① 視力(6年) | 木 個人面談① | 日 | 火 | 金 | 月 敬老の日 | 水 | 土 | 月 | 木 発育測定(5年) | 日 | 日 | 15 | |
| 16 | 水 | 耳鼻科(全) | 金 個人面談② PTA総会 懇談会 全校遠足(馬橋公園)予備日 | 月 水泳指導開始 | 水 | 土 学校閉庁日終 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 委員会活動⑩ 発育測定(4年) | 月 | 月 式場設営(5年) | 16 | |
| 17 | 木 | 視力(5年) 全国学力・学習状況調査6年 保護者会(135年) | 土 | 火 社会科見学(4年) | 木 大掃除(掃除＋昼休み) | 日 | 水 | 金 クラブ活動④ | 月 元気タイム始 | 水 | 土 | 火 | 火 大掃除(掃除＋昼休み) | 17 | |
| 18 | 金 | 視力(4年) | 日 | 水 プラネタリウム(4年) 口腔保健指導(6年) | 金 | 月 | 木 社会科見学(5年) | 土 | 火 | 木 | 日 | 水 | 水 | 18 | |
| 19 | 土 | | 月 個人面談③ | 木 | 土 | 火 | 金 委員会活動⑥ | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | 木 | 19 | |
| 20 | 日 | | 火 個人面談④ 心臓検診(1年)9:00～ | 金 | 日 | 水 | 土 | 月 運動会係活動①(6校時) | 木 | 土 | 火 発育測定(3年) | 金 理科出前授業(4年) | 金 春分の日 | 20 | |
| 21 | 月 | 視力(2年) | 水 内科(135年) | 土 | 月 海の日 | 木 | 日 | 火 | 金 クラブ活動⑤ | 日 | 水 書き初め展始 発育測定(2年) | 土 土曜学校公開④ 展覧会 | 土 | 21 | |
| 22 | 火 | 消防写生会(2年) 視力(3年) | 木 個人面談⑤ 航空写真撮影 | 日 | 火 給食終 | 金 | 月 | 水 就学時検診13:30 | 土 | 月 大掃除(掃除＋昼休み) 給食終 | 木 元気タイム始 発育測定(1年) | 日 | 日 | 22 | |
| 23 | 水 | 内科(246年) | 金 事前検診(6年) クラブ活動② 尿検査2次 | 月 水泳指導参観 セーフティ教室6年 | 水 終業式 水泳指導終 | 土 | 火 秋分の日 | 木 全校練習① | 日 勤労感謝の日 | 火 終業式 | 金 クラブ活動⑦ (クラブ見学3年) | 月 天皇誕生日 | 月 給食終 卒業式予行練習 | 23 | |
| 24 | 木 | 元気タイム始 視力(1年) | 土 | 火 水泳指導参観 社会科見学(3年) | 木 夏季休業日始 | 日 | 水 | 金 | 月 振替休業日 | 水 冬季休業日始 | 土 土曜学校公開③ 書き初め展終 | 火 振替休業日 | 火 修了式 お別れの会 | 24 | |
| 25 | 金 | 開校記念日(150周年) 周年集会(掃除、昼休み) 1年生13:40下校 | 日 | 水 6年音楽鑑賞教室午後(6時間授業) | 金 | 月 | 木 たてわり班遊び③ | 土 | 火 | 木 | 日 | 水 片付け(5年) | 水 卒業式 | 25 | |
| 26 | 土 | | 月 移動教室(6年) 尿検査2次追加 | 木 水泳指導参観 | 土 | 火 | 金 社会科見学(4年) | 日 | 水 | 金 | 月 振替休業日 | 木 元気タイム終 | 木 | 26 | |
| 27 | 日 | | 火 移動教室(6年) 水道キャラバン(4年) | 金 水泳指導参観(着衣泳予定) | 日 | 水 始業式 | 土 | 月 | 木 たてわり班遊び④ | 土 | 火 たてわり班活動⑤ | 金 | 金 | 27 | |
| 28 | 月 | たてわり班活動① | 水 移動教室(6年) | 土 | 月 | 木 給食始 | 日 | 火 理科出前授業(5年) | 金 読書月間終 | 日 | 水 | 土 | 土 | 28 | |
| 29 | 火 | 昭和の日 | 木 | 日 | 火 | 金 委員会活動⑤ | 月 | 水 | 土 | 月 学校閉庁始 | 木 午前美術館見学(5年) | | 日 | 29 | |
| 30 | 水 | | 金 元気タイム終 | 月 読書月間終 体力調査終 | 水 | 土 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 | | 月 | 30 | |
| 31 | | | 土 | | 木 | 日 | | 金 運動会係活動②(6校時) | | 水 | 土 | | 火 | 31 | |

★10月以降の避難訓練は予告なしで行います。